

新 LFC システムの世界によろこ！裁断技術が画期的に向上

デニムのような硬い材料を切るのは繊維産業では挑戦的なことです。材料の積層高さや厚みが増加すれば、裁断ナイフに加わる力が増加します。そして、それはナイフを壊したり、裁断精度を悪化させます。もし手動裁断だったら、特別な技能が必要となります。硬い材料裁断のお手伝いし、人手をかけないようにするため TSM はロボットカット自動裁断機に新しい人工知能を持ち込み、そのような作業で熟練技能や技術者の替わりをします。

新 LFC（側面外力打消し制御）の開発により、硬い材料の精度と仕上がりが飛躍的に改善されました。設計開発はタカオカとの共同で行いました。LFC システムではリアルタイムでナイフ側面に加わった力を減らすように裁断角度を調整します。これによりナイフの角度がまっすぐになり、裁断品は上位から底まで同じ寸法になります。この効果は特にカーシートやデニムや産業製品のような硬い材料に有効です。例えば、この新機能を備えた 4WB-T 機では以前より 20 層以上増やしたデニム（デニムの種類にも依存）を切ることができます。

昨年開発した MRC 機能と合わせて、TSM/タカオカグループでは裁断機の機械性能を着実に改善していきます。延反機、自動裁断機、針検知機などの完全な製品ラインと TSM/タカオカの多国籍対応でグループを発展させ、あらゆるお客様に裁断室でのすべての解決策を提供していきます。

